

新型コロナウイルス感染症対策と熱中症対策について<ガイドライン>

北信越サッカー協会

新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言が5月25日に解除され、6月27日にJリーグが再開されたところです。

今後、当地域内でも各事業が再開されるにあたり、新型コロナウイルス感染症対策に加えて、例年より活動開始が遅れていることから、熱中症対策に対して、これまで以上に配慮する必要があります。

JFA通知の「熱中症対策について<ガイドライン>」を遵守するとともに、マッチコミッショナーや審判員と情報共有し、会場地の実情や当日の天候を勘案していただき、選手や大会関係者の生命に危険が及ばないよう、次のとおり対策を講じていただきますようお願いいたします。

なお、以下に示す内容は例として記載するものであり、状況に応じて安全・安心を最優先していただくことを重ねてお願いします。

1 実情に応じて飲水タイムやクーリングブレイクを柔軟に設けること。

- ① 育成年代（U-12、U-15、U-18）においては、可能な限り複数回設ける。
- ② その他の年代においては、ゲーム打ち合わせ時に適切に判断する。
- ③ 延長戦やペナルティマークからのキックにより次回進出チームを決める場合についても、適切に対応できるようにしておくこと。
- ④ 審判団には主催者（主管者）が、飲みきりボトル（または、使い捨てコップ）による飲水を提供する。
- ⑤ 特に副審2への飲水提供方法について確認しておくこと。

北信越審判委員会からは、審判員に対し個人用ボトルを持参するよう連絡がいますが、ゲーム中の飲水については主催者（主管者）で用意するようにしてください。

- ⑥ その他の運営要員（ボールパーソン、担架要員他）についても飲水ができるよう事前準備（個人で持参するよう連絡、あるいは主催者（主管者）で提供）をすること。

2 「飲水タイム」及び「Cooling Break」時に用いる飲水用ボトルやタオル等は個人専用とすること。

- ① アマチュア競技会においては、飲みきりボトルの使用は困難と考えられるので、複数の個人用ボトルを用意（持参）し、使用すること。
- ② 飲料水をクーラーバックに入れて設置することを可能とする。ただし、設置ケースの素材は、ソフトタイプやビニールタイプのケースとし、ハードプラスチックのケースタイプの設置は不可とする。設置個所は4箇所（ハーフウェーラインとゴールラインの間中点付近）とし、設置距離はタッチラインから1.5m～2mぐらい離す。陸上競技場は芝面に設置しない。

- ③ 審判団をはじめとするゲーム運営役員・補助員についても、使い捨て紙コップの使用等により他の役員・補助員と飲水用具を共用しないこと。
- ④ ペットボトルに背番号のシールを貼るなど共有使用を避ける配慮をすること。

3 「飲水タイム」及び「Cooling Break」時は、テクニカルエリア付近で密集・密接の状態になりやすいので、飲水場所を事前に選手に指示しておくこと。

- ① GKは自陣ゴール付近、AR2側の選手はAR2側タッチライン付近の適切な場所に個人用ボトルを用意し、飲水する。
- ② このため、飲水用ボトルはピッチ外に従来以上に設置することもある。
- ③ 口に含んだ飲料水を吐かないこと。（試合中も唾やうがいをピッチに吐かないこと）
- ④ 選手が口を付け、フタをしたボトル等をクーラーボックスに戻すことは避ける。
- ⑤ 氷水にタオルやスポンジを入れて身体を冷やすことは、身体を冷やすだけであれば容認される。これらで顔を拭うことは行わない。

4 マスクの脱着について

- ① 選手はウオームアップ実施以外の時はマスクを着用する。指導者・スタッフは、常に原則としてマスクを着用する（屋外で人と十分な距離（少なくとも2m以上）が確保できる場合には、マスクをはずすことができる）。
- ② 運営役員は、原則としてマスクを着用する。屋外で人と十分な距離（少なくとも2m以上）が確保できる場合には、マスクをはずすことができる。
- ③ 審判員はウオームアップ実施以外の時はマスクを着用する。審判指導者は、常に原則としてマスクを着用する（屋外で人と十分な距離（少なくとも2m以上）が確保できる場合には、マスクをはずすことができる）。
- ④ 第4の審判員は、原則として試合中もマスクを着用する（人と十分な距離（少なくとも2m以上）が確保できる場合には、マスクをはずすことができる）。

5 選手ベンチについて（別添の試合運営図（例）参照）

- ① ベンチで間隔を空けて座れるよう、可能な限りテント等で追加ベンチを設置する。
- ② テントの後足は原則たたまず、なるべく風通しをよくするよう配慮する。
- ③ スタンド下がある場合は、控え選手は可能な限りスタンド下での待機が望ましい。
- ④ テクニカルエリアは、追加されたテントやベンチの前方まで範囲を広げず、従来のベンチ幅での範囲とする。

今回は、新型コロナウイルス感染症対策と熱中症対策に限った連絡となりますが、新型コロナウイルス感染症対策については、JFAから発出された「サッカー活動の再開に向けたガイドライン」や、当協会の技術委員会及び審判委員会が作成したガイドラインをご確認され、遺漏なきよう種別・連盟で適切な対策を講じたうえで、競技会やその他の事業を実施してください。